

森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業（執行委任：環境森林部森林保全室）

辻井貴弘

2005年4月19日に志摩市大王町波切、同月22日にいなべ市員弁町楚原の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、三重県科学技術振興センター林業研究部構内の網室に搬入した。採取地の状況は表-1のとおりである。構内でのマツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため、割材調査を成虫が脱出するまで行った。成虫の脱出消長調査は7月中旬まで実施し、脱出状況は表-2のとおりであった。

表-1. 採取場所の概況

場 所	標 高 (m)	方 位	樹 種	林 齢 (年生)	成立本数 (本・ha)
いなべ市員弁町楚原	110	—	アカマツ	29	800
志摩市大王町波切	17	—	クロマツ	24	1,000

表-2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調 査 地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
いなべ市	5/6	5/27	6/1	6/6	6/6	6/17	7/12
志摩市	4/19	5/6	5/25	5/31	6/1	6/13	7/14

脱出成虫数 いなべ市：72頭、志摩市：181頭